

[第1号議案] (報告事項)

平成24年度事業報告に関する件

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

・事業の状況

一般社団法人への移行後の2年目として、前年度に引き続き、当会の使命の再確認とそれに相応しい体制の整備を図った。すなわち、健全な財政基盤の確立に向けて、経費の節減に取り組むとともに、前年度から実施中の維持会員拡大に努めた。また、前年度から実施を進めている規程類の見直し・整備を継続実施し、年度末までにほぼ完了した。主要な活動内容は以下の通りである。

[1] 研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1号)

1. 春秋大会の開催

1) 第122回春期大会

会期 : 平成24年5月19日(土)、20日(日)
会場 : 九州大学 伊都キャンパス
実行委員長 : 堀田善治(九州大学)
定時総会 : 平成24年5月19日(土)
研究発表講演 : 平成24年5月19日(土)、20日(日) 155件
ポスターセッション : 平成24年5月19日(土) 43件
表彰式 : 平成24年5月19日(土)
会員懇親会 : 平成24年5月19日(土)(ホテルセントラータ博多)
見学会 : 平成24年5月18日(金) 荒尾市万田坑、不二ライトメタル(株)他、24名参加
機器・カタログ展示 : 平成24年5月19日(土)、20日(日)

2) 第123回秋期大会

会期 : 平成24年11月10日(土)、11日(日)
会場 : 千葉工業大学津田沼キャンパス
実行委員長 : 本保元次郎(千葉工業大学)
研究発表講演 : 平成24年11月10日(土)、11日(日) 159件
ポスターセッション : 平成24年11月10日(土) 44件
表彰式 : 平成24年11月10日(土)
会員懇親会 : 平成24年11月10日(土)(千葉工業大学)
機器・カタログ展示 : 平成24年11月10日(土)、11日(日)

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催日	開催場所	参加者数
1	第89回シンポジウム「高品質高信頼性ダイカスト・鋳物の最新動向と未来」	平成24年7月6日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	32名
2	第90回シンポジウム「軽金属材料の摩擦攪拌接合(FSW)」	平成24年9月14日	日本大学理工学部 駿河台キャンパス	27名
3	軽金属基礎技術講座 「アルミニウムの製造技術」	平成24年9月20日、21日	ヤマハリゾート つま恋	51名

[2] 国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第2号)

1. 国際交流

1) AFLM (Asian Forum on Light Metals) および ICP (International Communication Program) meeting

平成24年11月9日(金)(軽金属学会第123回秋期大会の前日)に、千葉工業大学津田沼キャンパスにて開催した。

(1) AFLM (Asian Forum on Light Metals)>

日本、台湾、韓国、中国、オーストラリアの5地域からの8名の講師により、軽金属(アルミニウム、マグネシウム、チタン)の学術・技術に関する動向や最近のトピックスについて、計8件の講演が行われた。

(2) ICP (International Communication Program) meeting

ICP meetingの開催地が一巡し、ICPの機能をさらに充実させるために活動を次のステージへ移すべき時期が来たと判断し、日本側でICPの役割を再考した結果に基づく提案について議論の結果、以下の通り決定または報告がなされた。

ICPをALMA (Asian Light Metals Association)と改称し、今後はホームページを活用した国際的な情報交換ならびに隔年で開催するALMA Forumを中心とした活動を推進する。

ALMAの事務局を日本(東京、軽金属学会)に置き、ALMA meetingを常時日本で、隔年に開催することとする。

ALMAの運営はALMA meetingにて協議することとし、初代ALMA委員長を熊井真次氏とする。

次回ALMA meetingとALMA Forumは、2014年東京地区で、軽金属学会秋期大会の前日に開催する。

ICP のホームページの運用開始がアナウンスされ、加盟地域のそれぞれのリンク先の URL を日本側に届け出ることを要請した。

(3) ICP の英文ホームページ開設

アジア地域の軽金属に関する産業と学術の相互交流を深め、加盟地域間の発展に資する交流の場とすることを目的に、軽金属(アルミニウム、マグネシウム、チタン)に関する研究者、開発者を対象として英文ホームページを完成させ、10月に軽金属学会ホームページ上に掲載した。

2) ICAA (International Conference on Aluminium Alloys) 国際委員の交代について

ICAA 国際委員は、今後、国際交流委員会で審議して決定し、理事会で承認というプロセスで行うことが決まった。これにより学側は、里 達雄氏(東京工業大学)から熊井真次氏(東京工業大学)に交代、産側は岡本一郎氏(日本軽金属)から相浦 直氏(神戸製鋼所)へと交代した。

3) ACAA への対応について

中国が ICAA の地域版として CCAA (Chinese CAA) を開催するという計画に対し異議を唱え、ACAA (Asian CAA) としての実施を提案し、了承された。なお、ACAA 実行委員会(中国)からの協力依頼等に対しては、上記の新 ICAA 国際委員が窓口となって対応することになった。

2. 産学官の連携

参与会を2回開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。

3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会の主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。

4. 他学術団体との連携

日本学術会議、材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。

[3] 学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第3号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、Vol.62, No.4~12, Vol.63, No.1~3 までの 12 冊を、うち、Vol.62, No.11 は「超微細粒がもたらす軽金属材料の新しい可能性」特集号として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。また、共同刊行欧文誌 Materials Transactions の Vol.53, No.11 「Crystallographic Orientation Distribution and Related Properties in Advanced Materials」特集号の企画に参加、刊行した。

【会誌】

区 分	編数	区 分	編数	区 分	編数
巻頭言	2	技術報告	2	研究室 / 研究所紹介	2
研究論文	44	連載講座	6	国際会議便り	3
研究ノート	0	新製品・新技術紹介	0	支部編集特集	0
解説	17	随想	9	はぐくむ	3
LMレビュー	0	LMコラム	2	掲載総数	90

2. 研究部会報告書の発行

NO.	名 称	発行日
57	「高品質・高信頼性鋳物製造技術の評価と活用 半凝固・半熔融鋳造技術の評価と活用」	平成 24 年 7 月 2 日
58	「摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質」	平成 24 年 9 月 14 日

3. その他刊行物

名 称	発行日
第 122 回春期大会講演概要集	平成 24 年 4 月 19 日
第 123 回秋期大会講演概要集	平成 24 年 10 月 10 日

[4] 研究及び調査の実施(定款第4条第4号)

研究部会に関しては、前年度より継続の7つの部会に加えて、新たに1つの部会が発足し活発な研究事業を実施した。数年以内に実施できる公的な予算による大型プロジェクトを念頭に研究計画の提案を募るべく、プランフォーマット案を作成した。

	部 会 名	課 題	研究成果概要
1	高機能押出加工技術研究部会 (22年9月開設、25年度末終了)	押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と時代の要請に対応した機能的な	6000系および7000系合金押出材表面の形成メカニズムの検討 第8回部会での議論を受けて、現在、富山大学において卒業論文研究として実施している。 6000系合金の押出材表面の形成メカニズムについては、素材ビレットを6063合金から6061合金に変更し、押出条件が表面性状等に及ぼす影響について検討

		押出加工技術の創成を行う。	した。 7000 系合金における金型の脆化に及ぼす Zn 拡散の影響について疲労試験にて検討した。押出実験については金型構造変更による予備実験を行った。
2	アルミニウム圧延における生産性研究部会(23年7月開設、26年度未終了)	アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。	第7回部会:平成24年11月16日(金)11:30~17:00 神戸製鋼真岡製造所(含工場見学)10名。 第8回部会:平成25年2月22日(金)11:00~17:00 古河スカイ深谷工場(含工場見学)。 ・各社、初めて生産性・稼働率向上の事例を持ち寄り、議論を開始することができた。
3	新機能発現・化学プロセス部会(23年6月開設、26年度未終了)	化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。	第4回会合:平成24年4月23日(月) 日本アルミニウム協会第一会議室 ・有機溶媒を用いたアルミニウム電析(三宅先生・京都大学) ・腐食防食を応用した研究の紹介(世利先生・室蘭工業大学) 第5回会合:平成24年7月17日(火) 日本アルミニウム協会第一会議室 ・イオン液体を用いた電気AIめっき(小浦様・日新製鋼) ・研究紹介(野田先生・芝浦工業大学) 当会合から参加メンバーが1名追加(境先生・室蘭工業大学) 第6回会合:平成24年10月17日(水)日本アルミニウム協会第一会議室 ・アルミニウムの電析技術(岡本様・日立金属) ・研究紹介(内川様・日本ペイント) 第7回会合:平成25年1月18日(金) 日本アルミニウム協会第一会議室 ・アルミニウムの電析(平藤先生・京都大学) 平藤先生を部会にメンバー追加。 ・研究紹介(紺野様・JWTC)・部会内ワーキンググループの結成について
4	成形性評価シミュレーションに関する基盤技術開発部会(23年6月開設、26年度未終了)	アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。	第5回部会実施:平成24年10月5日(金) ・二軸応力下における5000系アルミニウム合金板の変形特性:東京農工大 桑原先生、川口殿(学部4年) ・JIS5号引張試験片を用いた引張試験解析結果:三菱アルミニウム 福増委員、斉藤委員 ・液圧バルジ試験の解析結果:三菱アルミニウム 福増委員、斉藤委員 ・不均質性を考慮した有限要素解析:大阪大学 宇都宮先生 第6回部会実施:平成25年1月25日(金) ・液圧バルジ しわ押さえ時の変形軽量(バルジ変形前の初期 変形量の見極め):コベルコ科研 中島委員 ・二軸応力下における5000系アルミニウム合金板の変形特性-2:東京農工大 桑原先生、川口殿(学部4年) ・引張試験の解析におけるくびれ形状に及ぼすメッシュサイズの影響の調査結果:三菱アルミニウム 斉藤委員 ・液圧バルジ試験の解析結果(板厚ひずみ分布の実験値と解析結果):三菱アルミニウム 斉藤委員 ・液圧バルジ試験解析(解析モデルおよび解析条件と解析結果:群馬大 西田先生 ・JSTAMPによる液圧バルジ試験解析:群馬大 西田先生 ・材料組織と素材加工硬化特性の関係、素材の組織観察による加工硬化特性、降伏曲面形状変化に対する理解:住友軽金属 上間委員 軽金属学会第124回春期大会 講演 ・「5000系アルミニウム合金板の材料モデリングと液圧バルジ成形シミュレーション」東京農工大 桑原先生、川口殿 ・「5000系アルミニウム合金板の引張試験とバルジ成形のFEM解析」群馬大 西田先生、東京農工大 桑原先生
5	アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会(23年6月開設、26年度未終了)	昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、わが国独自の組織形成予測技術を実現させる。	4種類(3N,1050,8021,Al-5Mg)の10mm-HR板を作成完了。 asHR, 350-450 熱処理後の引張特性、ODF解析を行った。 仲町先生開発の組織予測モデルのソフトウェア解析を開始。冷間圧延時の組織予測で、マクロ解析とミクロ解析は弱錬成解析。 ICAA13:Computational Metallurgy 関係の文献レビュー5件実施
6	アルミニウム中の水素研究部会(23年6月開設、26年	アルミニウム合金材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼ	平成24年12月4日に第6回部会を開催。2回実施したラウンドロビンテストについて総括した。 1回目(前処理統一)全平均=0.147, 室内標準偏差 sRw=0.0129(CV=8.75%), 室

	度未終了)	す水素ガスの分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。	間標準偏差 sR=0.234(CV=15.86%) 2 回目 (前処理統一せず各社条件) 全平均=0.161, 室内標準偏差 sRw=0.0236(CV=14.67%), 室間標準偏差 sR=0.434(CV=26.99%)。前処理の最適化が必要であることが定量的に示された。
7	アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成研究部会(23年12月開設、26年度未終了)	アルミニウム溶解炉・保持炉に異常生成する複合酸化物(通称オバケ)を実機炉から採取・分析調査し、その生成機構解明を図るとともに、抑制に有効な知見を得る。	採取位置、溶解履歴がわかる形で、軽圧会社から実機溶解炉および保持炉からのサンプルが提出され、調査対象サンプルおよび調査方法について検討し、分析に着手した。 また、収集したオバケに関連する文献について、各委員持回りで読合せを行った。
8	加工と熱処理による優先方位制御研究部会(24年4月開設、27年度未終了)	加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、実現可能な優先方位の組合せによる大幅な特性改善の可能性を見出すこと。	平成 24 年 7 月 2 日に開催した第 1 回研究部会と平成 24 年 11 月 21 日に開催した第 3 回研究部会で、「優先方位評価の厳密化」と「特性改善に有効な優先方位の予測」について、それぞれの担当者と実施内容を決定し、活動を開始した。また、次年度から開始予定の研究課題について、平成 25 年 3 月 19 日に開催する第 4 回研究部会で活動内容を決定する。 平成 24 年 10 月 11 日、12 日に倉敷市芸文館で、日本金属学会分科会「結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会」と共催で公開講演会を開催し、これを平成 24 年度の第 2 回研究部会とした。

[5] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第 4 条第 5 号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、表彰は、(1)および(10)1)を平成 24 年 5 月開催の第 122 回春期大会にて、(2)～(8)および(10)2)を平成 24 年 11 月開催の第 123 回秋期大会表彰式にて行った。(9)については、平成 25 年 2 月末までに表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など表彰に相応しい時機に表彰を託した。

(1) 軽金属学会賞・功労賞・功績賞

1) 第 15 回軽金属学会賞

(受賞者) 千葉工業大学 名誉教授 茂木 徹一 君

2) 第 14 回軽金属学会功労賞

(受賞者) 古河スカイ(株) 石川 和徳 君、九州三井アルミニウム工業(株) 三久保 滋 君、三協マテリアル(株) 山下 友一 君

3) 第 10 回軽金属功績賞

(受賞者) 工学院大学 教授 小野 幸子 君、横浜国立大学 教授 福富 洋志 君

(2) 平成 24 年度軽金属論文賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで対象論文 48 編の内 11 編の論文を推薦した。

(3) 平成 24 年度軽金属論文新人賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで、対象論文 11 編の内 5 編の論文を推薦した。

(4) 平成 24 年度軽金属論文賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から吉田英雄委員長以下選考委員が 3 編を選考した。

(受賞論文)

1) 受賞論文名 「7N01 アルミニウム合金の時効特性に及ぼす化学成分の影響」(軽金属 第 61 巻 12 号(2011) P. 718-723)
住友軽金属工業(株) 箕田 正 君、吉田 英雄 君

2) 受賞論文名 「Al-Mg-Si 系合金の再結晶集合組織形成に及ぼす冷間圧延率の影響」
(軽金属 第 62 巻 2 号(2012) P. 60- 66)
古河スカイ(株) 竹田 博貴 君、日比野 旭 君 新日本製鐵(株) 高田 健 君

3) 受賞論文名 「異方性降伏関数を用いたアルミニウム合金板の液圧バルジ成形シミュレーションと実験検証」
(軽金属 第 62 巻 1 号(2012) P. 7-13)
東京農工大学大学院生 彌永 大作 君 東京農工大学 桑原 利彦 君
住友軽金属工業(株) 上間 直幸 君、浅野 峰生 君

(5) 平成 24 年度軽金属論文新人賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から吉田英雄委員長以下選考委員が 2 編(2 名)を選考した。

(受賞者)

1) 受賞者 早稲田大学大学院生(現 いすゞ自動車(株)) 座間 淳志 君

論文名 「半溶融および半凝固状態の Al-Mg 系合金の力学特性の比較」(軽金属 第 61 巻 9 号(2011) P. 446-451)

2) 受賞者 東京農工大学大学院生 彌永 大作 君

「異方性降伏関数を用いたアルミニウム合金板の液圧バルジ成形シミュレーションと実験検証」

(軽金属 第 62 巻 1 号(2012) P. 7-13)

(6) 第 47 回小山田記念賞選考委員会

三輪謙治委員長のもと、応募技術 2 件について検討の結果、当該技術 1 件が選考された。

(受賞技術) 「ノンクロム下地 Super-Ecoat[®]を用いたアルミニウムボトル缶キャップの実用化」

(受賞者) 三菱アルミニウム(株) 山口 恵太郎 君、山本 正博 君

ユニバーサル製缶(株) 井田 宗孝 君、花房 泰浩 君、武藤 英泰 君

(7) 第 35 回高橋記念賞選考委員会

仲井清眞委員長のもと、各支部からの推薦 8 名について選考委員による書面審査の結果、4 名を選考した。

(受賞者) 古河スカイ(株) 神山 達也 君、住友軽金属工業(株) 竹添 義久 君
 広島アルミニウム工業(株) 藤井 裕喜 君、昭和電工堺アルミ(株) 和田 修治 君

(8) 軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞選考委員会

伊藤吾朗委員長のもと、3 つの賞について審議し、奨励賞は応募 6 名の候補者のうち 3 名を、躍進賞は 4 名の候補者のうち 3 名を、女性未来賞は 1 名の候補者について審議の結果、当該 1 名を選考した。

1) 第 30 回軽金属奨励賞

(受賞者) (株)神戸製鋼所 泉 孝裕 君、古河スカイ(株) 大谷 良行 君、住友軽金属工業(株) 坂口 信人 君

2) 第 11 回軽金属躍進賞

(受賞者) (株)豊田中央研究所 倉本 繁 君、(株)神戸製鋼所 服部 伸郎 君、大阪大学 堀川 敬太郎 君

3) 第 4 回軽金属女性未来賞

(受賞者) 兵庫県立大学 三浦 永理 君

(9) 平成 24 年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦 33 名について、総務委員会による二次選考の結果、33 名を選考した。

(受賞者)

所 属	氏 名	所 属	氏 名
室蘭工業大学大学院	細井 勇志 君	長岡技術科学大学大学院	高橋 広樹 君
旭川工業高専	中山 雄貴 君	長岡技術科学大学大学院	太田 宗貴 君
東北大学大学院	小峯 和也 君	富山大学大学院	中川 大輔 君
群馬大学大学院	石井 伸幸 君	金沢大学大学院	大河原 祥一 君
東京農工大学大学院	彌永 大作 君	豊橋技術科学大学大学院	稲森 隆晃 君
工学院大学院	小林 大記 君	名古屋工業大学大学院	曾我部 岳 君
茨城大学大学院	中野 雅彦 君	大阪大学大学院	福住 嘉浩 君
千葉大学大学院	鈴木 亮 君	関西大学大学院	野中 厚志 君
日本大学大学院	古市 英樹 君	大阪大学大学院	三本 高哲 君
東京工業大学大学院	澤 裕也 君	大阪工業大学大学院	山敷 拓也 君
法制大学大学院	石渡 薫 君	大阪工業大学大学院	鎌倉 圭佑 君
東京工業大学大学院	大谷 暁史 君	弓削商船高専	金山 竜也 君
東京工業大学大学院	羽鳥 晃 君	九州大学大学院	石井 良樹 君
早稲田大学大学院	市川 淳一 君	山口大学大学院	吉岡 亮 君
芝浦工業大学	鈴木 輝 君	九州大学大学院	米本 涼 君
茨城大学大学院	早瀬 弘章 君	熊本大学大学院	丸野 史顕 君
日本大学大学院	松丸 慶成 君		

(10) 優秀ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈られる賞で、今年度は以下の通り春期 7 名、秋期 6 名を表彰した。

1) 第 122 回春期大会 優秀ポスター発表賞受賞者

大阪大学 産業科学研究所 井手拓哉 君 「一方性気孔を有するロータス型ポーラス金属の気孔の分布」

大阪大学大学院 甲能 涉 君 「Al-5%Mg 合金の高温延性に及ぼす液体金属浸漬の影響」

大阪工業大学大学院 鎌倉圭佑 君 「半凝固温度域が広いアルミニウム合金のロールキャスト」

山梨大学大学院 猿渡直洋 君 「溶体化処理時の昇温速度が AC4CH 合金鋳物の共晶 Si 粒子形態と機械的性質に及ぼす影響」

熊本大学大学院 城野百合 君 「Mg-Zn-Gd 合金押出材のクリープ変形時における LPSO 相と a 相加工粒の安定性」

長岡技術科学大学大学院 高橋広樹 君 「Mg-Al-Ca-Mn 系合金押出材の組織および機械的性質に及ぼす押出温度の影響」

熊本大学大学院 良井優太 君 「化合物分散型 Mg-Ca-Zn 合金押出材の組織と機械的特性」

2) 第 123 回秋期大会 優秀ポスター発表賞受賞者

大阪工業大学大学院 鎌倉圭佑 君 「半凝固温度域が広いアルミニウム合金のロールキャスト」

神戸大学大学院 長尾昌樹 君 「Mg-Y 二元合金の衝撃延性」

大阪工業大学大学院 山敷拓也 君 「高速双ロールキャストしたアルミニウム合金薄板のエッジに発生するバリにサイドダンププレートが及ぼす影響」

関西大学大学院 大島裕史 君 「種々の環境下で Ti 上に生成させたカソード皮膜の特性」

熊本大学大学院 田代哲也 君 「Mg-Zn-Y 系 LPSO 相におけるキンク変形帯の結晶方位解析」

長岡技術科学大学大学院 太田宗貴 君 「Ca 添加した AZ91D 合金ダイカスト材のクリープ特性に及ぼす時効処理の影響」

(11) 軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会

山内重徳選考委員会委員長のもと、3 つの賞について審議の結果、学会賞は 3 名の候補者のうち 1 名を、功労賞は 2 名の候補者のうち 1 名を、功績賞は 3 名の候補者について当該 3 名をそれぞれ下記のとおり選考し、理事会の承認を得た。表彰は平

成 25 年 5 月開催の第 124 回春期大会にて行われる。

1) 第 16 回軽金属学会賞

(受賞者) 北陸職業能力開発大学校校長、富山大学名誉教授 池野 進 君

2) 第 15 回軽金属学会功労賞

(受賞者) アイシン軽金属株式会社 専務取締役 村上 哲 君

3) 第 11 回軽金属功績賞

(受賞者) 富山大学 教授 柴柳 敏哉 君、宇都宮大学 教授 高山 善匡 君、兵庫県立大学 教授 山本 厚之 君

[6] その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第 4 条第 6 号)

1. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

2. 若手の会、女性会員の会

(1) 若手の会

第22回会合: 第122回春期大会第2日目(5月20日)に実施。参加者45名。話題提供と質疑応答。

第2回若手育成のための合同会合: 第122回春期大会前日に実施。参加者19名。

第23回会合: 第123回秋期大会第2日目(11月11日)に実施。参加者45名。話題提供と質疑応答。

(2) 女性会員の会

第12回会合: 第122回春期大会第1日目(5月19日)に実施。参加者21名(女性16名、男性応援5名)。

第3回託児室設置: 第122回春期大会第1日目(5月19日)に実施。利用者1名。

第13回会合: 第123回秋期大会第1日目(11月10日)に実施。参加者26名(女性22名、男性応援4名)

第4回託児室設置: 第123回秋期大会第1日目(11月10日)に実施。利用者1名。

3. 支部活動

(1) 北海道支部

1) 講演会等

行事名: 平成 24 年度北海道支部講演大会(Casting 工学会北海道支部と共同開催)

日 時: 平成 24 年 4 月 19 日(木) 9:30 ~ 17:30 場 所: KKR ホテル札幌(札幌市中央区)

行事名: 第 5 回ものづくり技術交流会

日 時: 平成 24 年 7 月 5 日(月) 13:30 ~ 16:00 場 所: いすゞエンジン製造北海道株式会社(北海道苫小牧市)

「シリンダーブロックリーク不良率低減」いすゞエンジン製造北海道(株)

「省エネ改善 ~ 溶解炉集塵ファンのインバータ化」アイシン北海道(株)

行事名: 第 1 回アルミニウム技術講演会(見学会)(北海道アルミニウム利用技術研究会と共同開催)

日 時: 平成 24 年 9 月 25 日 13:00 ~ 17:30

場 所: リョービ(株)静岡工場(静岡県静岡市)、日本軽金属(株)蒲原製造所(静岡県静岡市)

日本軽金属(株)グループ技術センター

講演題目

1. 「リョービ(株)でのダイカスト製品製造技術」 リョービ(株)生産技術部課長 井澤龍介 氏

2. 「アルミニウム精錬から製品製造まで」 日本軽金属(株)蒲原FC事業グループ課長 鈴木秀紀 氏

3. 「アルミニウム製品開発および研究について」 日本軽金属(株)グループ技術センター長 土田孝之 氏

行事名: 北海道アルミニウム利用技術研究会第 2 回アルミニウム技術講演会

日 時: 平成 24 年 10 月 25 日 14:30 ~ 17:00 場 所: 苫小牧市テクノセンター会議室(北海道苫小牧市)

講演題目: 「ダイカスト金型の長寿命化と離型剤技術動向」(株)アーレスティ 技術部 技術開発課 佐々木英人 氏

行事名: 北海道アルミニウム利用技術研究会第 3 回アルミニウム技術講演会(実習会)

日 時: 平成 25 年 2 月 19 日(火) 14:30 ~ 17:30 場 所: 苫小牧工業高等専門学校(北海道苫小牧市)

講演題目: 「K モールド法によるアルミニウム溶湯清浄性評価」日本軽金属(株)蒲原FC事業グループ課長 鈴木秀紀 氏

(2) 東北支部

1) 第 1 回支部講演会(共催)

溶接学会東北支部 第 24 回溶接・接合研究会

日時: 平成 24 年 7 月 20 日(金) 13:00 ~ 17:00 場所: 山形国際ホテル(山形市香澄町 3-4-5 TEL: 023-633-1313)

主催: 溶接学会東北支部、共催: 軽金属学会東北支部、協賛: 日本溶射協会関東支部

2) 第 2 回支部講演会(共催)

東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップ日本バイオマテリアル学会東北地域講演会

「高度医療技術を支える金属系バイオマテリアルの研究開発」

日時: 平成 24 年 9 月 3 日-4 日 場所: 東北大学金属材料研究所講堂

主催: 東北大学金属材料研究所共同研究、日本バイオマテリアル学会東北地域

共催: 日本学術振興会第 176 委員会、東北大学、軽金属学会東北支部、日本金属学会機能性チタン合金研究会

基調講演: 1 件 「金属 / ポリマー界面における高度潤滑機能と長寿命型人工股関節の創出」

石原一彦氏 東京大学大学院工学系研究科

講演: 23 件、参加者数: 延べ 143 名

3) 第 3 回支部講演会(主催)

軽金属学会東北支部特別講演会

「未来社会を拓く新材料と製造技術」

日時:平成24年11月2日(金)13:00-14:30 場所:日本大学工学部 50周年記念館(通称:ハットNE)3階 大講義室

講演:夢の扉を開く「材料研究とMuddle Through」 河村 能人氏 熊本大学

夢を形にする「アルミニウム連続鋳造および鍛造技術の紹介」 岡本 康夫氏 昭和電工(株)

4)第4回支部講演会(共催)

軽金属の新しいプロセッシング技術に関するワークショップ「環境負荷低減と循環型社会構築を目指して」

協賛:軽金属学会東北支部 日時:平成25年1月25日(金)9:30~17:00 場所:仙台市戦災復興記念館研修室

招待講演:2件

“Material properties, recycling and energy savings using dynamic EPM models”

University of Greenwich, UK Dr. Valdis Bojarevics

“Inclusion Behavior in Liquid Metal”

Arcelor-Mittal, FRANCE Dr. Pascal Gardin

講演:8件

5)平成24年度軽金属希望の星賞候補者 本部表彰

支部内での一次選考で枠内申請 1名を推薦、小峯和也君(東北大学大学院工学研究科)が受賞

6)平成24年度軽金属希望の星東北支部賞 支部表彰

支部内での選考で西脇成彦君(東北大学大学院工学研究科)が受賞

7)第1回支部役員会

日時:平成25年3月18日(月)12:00-13:30 場所:東北大学金属材料研究所 COE 棟セミナー室2

(3)関東支部

1)第1回運営委員会 出席者9名

日時:平成24年4月20日(金) 16:15~17:45 場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階1913室

2)第35回高橋記念賞推薦2件

3)第2回運営委員会 出席者16名

日時:平成24年7月31日(火) 16:00~17:10 場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階1913室

4)支部若手育成支援事業:第3回若手研究者ポスター発表会

日時:平成24年8月8日(水) 12:00~14:30 場所:工学院大学 新宿キャンパス 3階

若手研究者ポスター発表件数:40件(各種表彰は次頁のとおり)

参加者若手約60名を含む約110名

5)平成24年度総会

日時:平成24年8月8日(水) 15:00~15:30 場所:工学院大学 新宿キャンパス 3階

6)特別講演会

日時:平成24年8月8日(水) 15:40~17:10 場所:工学院大学 新宿キャンパス 3階

1)「アルミ合金製鉄道車両の発展」石塚弘道氏(公益財団法人鉄道総合技術研究所)

2)「アルミニウムのオヤユビ法則」増子 昇氏(東京大学名誉教授)

7)懇親会・表彰式

日時:平成24年8月8日(水) 17:30~19:30 場所:工学院大学 新宿キャンパス 7階生協食堂

8)第15回「エネルギー利用」技術作品コンテスト2次審査への協力

日時:平成24年10月27日(土)

場所:信州大学

9)第123回 秋期大会講演会の実行援助

日時:平成24年11月10日(土),11日(日)

場所:千葉工業大学

10)第3回運営委員会 出席者15名

日時:平成24年12月21日(金) 15:30~17:15 場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階1913室

11)平成24年度軽金属希望の星賞受賞候補者の一次選考

枠内申請10名,枠外申請6名選定

12)維持会員加入勧誘,訪問活動,アンケート

13)工場見学会 参加者28名

日時:平成25年1月25日(金)9:30~16:30 大紀アルミニウム工業所 結城工場、日産自動車 栃木工場

14)第4回運営委員会

日時:平成25年3月14日(金) 場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階1913室

15)軽金属学会関東支部第3回若手研究者ポスター発表会受賞者

平成24年8月8日(水)

【最優秀ポスター賞:2件】

- 小山 僚人(茨城大学大学院理工学研究科機械工学専攻)

Al-9%Mg合金を引張変形した時に粒界から放出される水素と表面起伏の関係

- 小林 渉(工学院大学大学院工学研究科化学応用学専攻)

細胞増殖性に対するアノード酸化ポーラスアルミナ皮膜の微細構造の影響

【優秀ポスター賞:6件】

- 渡辺 涼太郎(日本大学大学院生産工学研究科機械工学専攻)

切削屑を利用したアップグレードリサイクル材の創製

- 岡村 一伯 (長岡技術科学大学大学院工学研究科機械創造工学専攻)

Mg-Al-Ca-Mn 希薄合金押し材のマイクロ組織と機械的性質に及ぼす Al 添加量の影響

- 高橋 広樹 (長岡技術科学大学大学院工学研究科機械創造工学専攻)

超高強度汎用型耐熱 Mg-Al-Ca-Mn 系合金押し材の創製

- 三田村 尚哉 (千葉大学大学院工学研究科)

マグネシウム合金管の浮動拡管プラグ曲げ

- 高 立 (東京工業大学大学院総合理工学研究科材料物理学専攻)

Analysis of Dendritic Primary Al Grain Ripening and Solid Fraction Measurement in A356 Alloy Semi-solid Slurry Using Segregation Sensitive Reagent

- 柴田 顕弘 (本田金属技術(株) 開発技術本部商品開発部)

窒素を用いた鋳造用アルミニウム合金の溶湯処理

[関東支部賞:1件]

- 林田 達郎 (早稲田大学大学院基幹理工学研究科機械科学専攻)

浸漬法によるパイプと基材との溶融・半溶融接合を用いた方向性気孔を有するポラスアルミニウム合金の作製

[優秀学生ポスター賞:1件]

- 栗原 亮典 (群馬大学工学部生産システム工学科)

有限要素解析による高張力鋼板の局所くびれ発生予測法

(4)北陸支部

1)幹事会(定例2回)

第1回

日時:平成24年4月18日(水)13:30~14:45 場所:富山大学工学部 大会議室

第2回

日時:平成24年9月25日(火)13:00~14:15 場所:富山大学工学部 大会議室

2)講演会(2回)

[春期講演会]

開催日時:平成24年6月15日(金)13:30~16:50 開催場所:富山大学工学部 大会議室

招待講演 「アルミニウムの先進プロセッシング--摩擦攪拌接合とレーザ局所熱処理--」

富山大学大学院理工学研究部 教授 柴柳 敏哉 氏

招待講演 「アルミニウム缶の軽量化のための材料技術について」

(株)神戸製鋼所 真岡製造所・アルミ板研究部・材料加工研究室 室長 鶴田 淳人 氏

企業発表 「現状のアルミボトル缶に求められる機能と技術開発」

武内プレス工業(株) 技術開発部 山本 啓介 氏

研究発表 「Effect of Minor elements on Age-hardening in Al-Mg-Si Alloys」

前富山大学産学連携機構 博士研究員 王 樹 美 氏

[秋期講演会]

開催日時:平成24年11月30日(金)13:30~16:40(懇親会:17:00~18:30) 開催場所:高岡 JA 会館

招待講演 (軽金属学会功労賞受賞講演) 「アルミ・マグネの可能性を求めて 一技術者の歩み」

三協立山(株)三協マテリアル社 事業役員 生産統括室 室長 山下 友一 氏

招待講演 「自動車軽量化に向けた軽金属鋳造材料およびプロセスの開発動向」

富山大学大学院理工学研究部 准教授 才川 清二 氏

企業発表 「アルミ合金小径連続鋳造棒 TG-bar による鍛造製品化の試み」

三協立山(株)三協マテリアル社 技術開発統括室技術開発部材料開発課 副主事 土肥 正芳 氏

企業発表 「当社製品および福井工場のご紹介」

古河スカイ(株) 技術研究所 第一研究部 福井研究室 室長 鈴木 寛 氏

3)幹事研修会(1回)

日 時:平成24年10月26日(金)~27日(土) 見学場所: (株)スギノマシン 早月工場、(株)不二越 滑川工場

懇親会 金太郎温泉

4)支部若手育成支援事業(1件)

- 1) 富山大学工学部材料機能工学科 3年生、修士課程1年生 軽金属啓発事業 (工場見学会)

日時:平成24年8月8日、27、30、31日、9月4、5、21日

場所:(株)アーレスティ、三協マテリアル(株)、YKKAP(株)、(株)ジェイテクト、大平洋製鋼(株)、(株)鉄道機器 (株)アライドマテリアル、(株)八尾キタノ製作

参加学生:71名

5)第124回全国大会

第1回実行委員会

日 時:平成24年5月22日(火)13:30~15:30 場 所:富山大学工学部 大会議室

第2回実行委員会

日 時:平成24年9月25日(火)15:00~17:00 場 所:富山大学工学部 大会議室

6)協賛事業(5件)

湯川記念講演会(主催:日本鉄鋼協会北陸信越支部,共催:日本金属学会北陸信越支部)

- ・開催日:平成 24 年 7 月 31 日(火) 場 所:富山第一ホテル
講演題目:「ニューラルネットワークを用いた溶接部の特性予測並びに溶加材設計」
講師:福井工業大学 原子力技術応用工学科 教授 西本 和俊 氏
講演題目:「スーパー 2 相ステンレス鋼鍛鋼品の開発 ~ 難鍛造性材料の鍛造について ~」
講師:大平洋製鋼株式会社 富山製造所 技術顧問 瀬尾 省逸 氏
- 第 7 回材料物性・材料工学国際会議 (ICPMAT2012) (主催 ノルウェー科学技術大学・富山大学材料機能工学科)
開催日:平成 24 年 6 月 18 日~21 日 場 所:ノルウェー科学技術大学
7 か国、73 名参加、学術発表 55 件
本多光太郎記念特別講演会 (主催:日本金属学会北陸信越支部, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部)
開催日:平成 24 年 12 月 8 日(土) 14:00~15:00 場 所:福井工業大学
講演題目:「マクロおよびナノポーラス金属の研究と展望」 講師:若狭湾エネルギー研究センター 所長 中嶋 英雄 氏
- 第 4 1 回富山大学材料研究会
(主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)
開催日:平成 24 年 10 月 3 日(水) 場 所:富山大学 工学部
基調講演 1 「溶接・接合における移動現象問題 - 遅れ破壊ならびに異材界面反応 -」 富山大学 柴柳 敏哉 氏
基調講演 2 「マグネシウム合金による自動車軽量化と技術開発の方向性」 富山大学 才川 清二 氏
企業発表 「高耐久性ハイテン鋼板成形金型の開発」
日本高周波鋼業(株) 富山製造所 商品開発部 菓子 貴晴 氏、殿村 剛志 氏、(株)カムス 高沢 友康 氏、
(株)神戸製鋼所 技術開発本部 材料研究所 山本 兼司 氏、村上 昌吾 氏
企業発表 「高温熱処理による Mo-Ti-Zr 合金の機械的特性および破面形態の変化」
(株)アライドマテリアル 材料研究部 西野 成恒 氏
企業発表 「9Cr-1.8W 鋼における鍛造バルブの開発」 大平洋製鋼(株) 富山製造所 飯田 恭平 氏
企業発表 「不二越におけるプレス用マグネシウム合金の研究開発」 (株)不二越 マテリアル事業部 和田 敏秋 氏
企業発表 「アルミニウム押出型材(難冷却材)の強度安定化」
三協立山(株) 三協アルミ社 材料技術部 軽金属技術課 二口 晃 氏
- 第 4 2 回富山大学材料研究会
(主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)
開催日:平成 24 年 2 月 12 日(火) 場 所:富山大学工学部
基調講演 1 「鍛造, ダイキャストプロセスに関わる疲労解析例」
富山大学工学部長 富山大学大学院理工学研究部教授 石原 外美 氏
基調講演 2 「高速度工具鋼の真空熱処理化と高速流水焼入れの熱処理特性の考察」
(株)不二越 開発本部 商品開発部 チーフエンジニア 浅田 泰弘 氏
企業発表 「難鍛造性材料におけるポンチング加工性の評価」 大平洋製鋼(株) 技術部 技術開発課 平林 純一 氏
企業発表 「W焼結体の特性に及ぼす焼結条件の影響」 (株)アライドマテリアル 材料研究部 池田 大 氏
企業発表 「スーパーインパーの熱膨張係数に及ぼす熱処理条件の影響」
日本高周波鋼業(株) 富山製造所 商品開発部 大中年樹 氏、藤本 康寛 氏
企業発表 「組織制御によるアルミ合金の軽量化」
YKK(株) 工機技術本部 基盤技術開発部 金属材料・プロセス G 小泉 琢哉 氏

(5)東海支部

1)会議関係

(1) 総会(1回)

日時:平成 24 年 4 月 9 日(月)13:30~13:50 場 所:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 1001 号室

(2) 評議員会(1回)

日時:平成 24 年 4 月 9 日(月)10:30~12:00 場 所:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 1209 号室

(3) 支部理事会

第 1 回支部理事会

日時:平成 24 年 9 月 20 日(火)15:00~17:30 場 所:住友軽金属工業(株)・名古屋支店会議室

第 2 回理支部事会

日時:平成 25 年 1 月 17 日(木)10:00~12:00 場 所:名古屋大学 ES 総合館 ES 会議室

第 3 回支部理事会

日時:平成 25 年 3 月 11 日(木)15:30~17:30 場 所:住友軽金属工業(株)・名古屋支店会議室

2)企画行事等

(1) 第 1 回講演会 「宇宙太陽発電所と次世代航空機用材料の動向」

日時:平成 24 年 4 月 9 日(月)14:00~16:40 場 所:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 1001 号室 参加:74 名

- 講演題目:1. 次世代の航空機用アルミニウム合金 (14:00~14:40) 住友軽金属工業(株) 佐野 秀男 君
- 2. 航空機用アルミニウム合金と CFRP の特徴と課題 (14:40~15:20) 大同大学 教授 平 博仁 君
- 3. 宇宙太陽発電所 SPS が期待する軽量構造材料 (15:30~16:40) 京都大学生存圏研究所 教授 篠原 真毅 君

(2) 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会

日時:平成 24 年 10 月 19 日(金) 10:00~16:35 場 所:名古屋工業大学 講堂会議室 参加:94 名

- プログラム:1. 各種アルミニウム合金とその特徴(熱処理を含む)(10:00~11:00) 住友軽金属工業(株) 浅野峰生 君
- 2. アルミニウム合金の塑性加工(11:00~12:00) 岐阜大学 吉田佳典 君

3. アルミニウム合金の表面処理(13:20～14:20) 三菱アルミニウム(株) 鳥居麗子 君
4. アルミニウム合金および異種材の接合(14:20～15:20) (株)神戸製鋼所 海読一正 君
5. アルミニウムの切削加工(15:35～16:35) 富山大学 山田 茂 君

(3) 第2回講演会 「アジアにおけるアルミものづくり最前線」

日時:平成25年1月17日(木) 13:00～17:00 場所:名古屋大学 ES 総合館ESホール 参加:88名

1. 次世代自動車の技術 - アジアに期待されること - (13:05～13:50)

名古屋大学エコトピア科学研究所 副所 融合プロジェクト研究部門教授(公益社団法人)自動車技術会副会長

大日方 五郎 君

2. アジアにおける自動車用アルミ熱交換器の現状と将来 (13:50～14:35) (株)デンソー 材料技術部金属材料2室 外山 猛敏 君
3. タイにおけるアルミ圧延・押出し (14:35～15:20) 三菱アルミニウム(株) 板事業本部熱交材事業室 黒田 周 君
4. 中国におけるアルミ鍛造 (15:30～16:15) (株)神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 相浦 直 君
5. アジアにおけるアルミ鋳造 (16:15～17:00) 日軽エムシーアルミ(株) 開発部 堀川 宏 君

(4)TECH Biz Expo2012

日時:平成24年11月28～30日 場所:ポートメッセなごや(名古屋国際展示場)

東海支部ブース展示内容:支部企画行事紹介,理事会員(企業)紹介,理事会員(大学)研究内容紹介をするパネル展示。アルミニウム製品展示(自動車パネル,バンパー,熱交換器,各種ケース)。

入手した名刺は43枚で,13名からアンケート回答受領。軽金属への期待として軽量化,環境負荷軽減,車両材料への貢献などが高かった。また,軽金属学会への関心があるとした回答が12名おられ,今後行事案内を送り,将来の維持会員候補として対応する。

(5)部会活動

「プレス加工部会」:部会長 名古屋大学 石川教授

軽金属のプレス加工全般に関わる課題を明らかにし,軽金属材料をより使いやすくしていくための活動とする。平成24年11月14日に「アルミパネル材の変形特性と成形技術」に関する懇談会を実施。聴講者は31名であった。

「航空機材料部会」:部会長 名古屋大学 金武教授

官からは中部経済産業局等,産からは航空機の素材メーカー,機体メーカー,部品メーカー,学からは名大,大同大等が集まり,航空機用軽金属材料の課題を明らかにし,産官学の連携で問題解決を目的とする。これまでの部会議論をベースに METI に話題提供し,国家プロジェクトへの提案を検討中。

「軽進会」:リーダー 名古屋大学 久米先生

産官学の若手会員のネットワークを拡げて交流を活発にし,東海支部の活性化,発展に寄与することを目的とする。平成24年7月3日に第10回委員会を開催し,(株)神戸製鋼所 大安工場で自由鍛造,砂型鋳造を見学した。

「女性の会」:世話人 三菱アルミニウム(株) 鳥居君、日本軽金属(株) 伊藤君、住友軽金属工業(株) 上田君

女性のネットワークを作り上げるため,平成23年4月に立ち上げた。活動は年間2～3回予定で,社会人中心の活動と学生向けの活動を並行して行っていく計画である。第二回交流会を平成24年12月17日に実施した。女子学生と女性研究者の交流を目的に開催し,総勢21名の参加があった。女子学生が4名で,当初期待より少なかった。今後の案内の仕方に工夫が必要。

3)本部表彰

高橋記念賞で支部推薦の住友軽金属工業(株) 竹添義久氏が受賞された。

(6)関西支部

- 1) 支部理事幹事会 3/12 24年度の支部理事・監事および役割分担決定
- 支部理事幹事会 4/16 23年度振返りと24年度活動計画まとめ
- 支部理事幹事会 1/8 希望の星賞選考と24年度活動振返り

2)高橋記念賞

昭和電工堺アルミ(株) 和田修治氏を推薦、受賞決定

3)軽金属学会功労賞 推薦

4)軽金属学会賞 推薦

5)軽金属希望の星賞推進 枠内枠外含めて5名を推薦,受賞決定

6)研究会

(1)関西軽金属サマースクール

平成24年9月6日 関西大学千里山キャンパスにて実施 約70名参加

テーマ「材料特性に影響する因子」

1. 材料中の格子欠陥 大阪大学 荒木秀樹
2. 超微細粒材料が示す特異な力学特性 京都大学 寺田大将

(2)軽金属関西支部シンポジウム

平成24年9月6日 関西大学千里山キャンパスにて実施 約70名参加

テーマ「企業の先輩から若手研究者に送るメッセージ」

1. あるみにうむの合金の研究開発で学んだこと 昭和電工アルミ販売(株) 佃 市三
2. 技術開発を志す若い皆さんへ 東洋アルミニウム(株) 福井康司

(3)関西支部 若手研究者院生による研究発表会

平成24年12月25日 大阪工業大学 大宮キャンパス 約90名参加

研究発表 7件 ポスターセッション

特別講演(京都大学 名誉教授 落合庄治郎)

(4) 出前講座 テーマ「軽金属材料の接合」

平成 24 年 12 月 17 日 京都中小企業技術センター 約 30 名参加

「アルミニウムの抵抗溶接」 大阪大学 福本信次

「軽金属材料における摩擦攪拌接合」 大阪府立産業技術総合研究所 平田智丈

「アルミニウム合金接合技術を用いた製品の紹介」 昭和電工アルミ販売(株) 成瀬茂利

(5) フィールドワーク

11~12月に実施、実施報告 平成 24 年 12 月 25 日に大阪工業大学大宮キャンパスにて実施 約 90 名参加

大阪工業大学 東洋アルミニウム 大阪大学 神戸製鋼所 兵庫県立大学 造幣局研究所

7) 維持会員登録 以下 5 社が加入

(株)シマノ 1/18 再加入、大阪冶金興業(株) 2/20 新規加入、東海アルミ箔(株) 7/13 新規加入、

東洋アルミエコープロダクツ(株) 7/13 新規加入、大阪府立産業技術研究所 6/15 訪問依頼するも加入しない旨の回答あり、

東洋アルミ千葉(株) 11/9 新規加入

(7) 中国四国支部

1) 支部講演大会の開催

日時:平成 24 年 7 月 7 日(土) 場所:広島大学工学研究科講義棟 115, 117 (広島県東広島市鏡山 1 - 4 - 1)

2) 研究会の開催

2)-1 第 1 回研究会

日時:平成 24 年 10 月 19 日(金) 13:00~17:20 場所:愛媛大学工学部本館 3 階大会議室(松山市文京町 3 番)

講演: Al-Mg-Si(6061-T6)合金の摩擦攪拌接合による材質変化について 岡山理科大学 助台榮一

不安定な組織の“やわらかさ” 愛知工業大学 土井 稔

ナノ組織制御によるレアアースフリー汎用型マグネシウム合金の高性能化 - 規則 GP ゾーンと動的再結晶の融合 -

長岡技術科学大学 鎌土重晴

Mg 基 LPSO 金属間化合物の構造と変形 京都大学 乾 晴行

2)-2 第 2 回研究会

日時:平成 24 年 12 月 10 日(月) 11:00~16:30 場所:岡山理科大学 27 号館 2 階セミナー室(岡山市北区理大町 1-1)

講演: Al 合金の時効析出と空孔-溶質原子相互作用 岡山理科大学 金谷輝人

ジルコニアセラミックスの等温・非等温変態 鳥取大学 音田哲彦

Ti-Fe-Al 合金の等温マルテンサイトの変態挙動 岡山大学 竹元嘉利

歯科用金銀パラジウム合金の硬化機構に関する銀/銅比の影響 香川大学 田中康弘

基調講演:数種の相変態の進行過程とその機構 愛媛大学 仲井清真

3) 若手フォーラム

日時:平成 24 年 12 月 21 日(金) 13:00~16:20 場所:広島県情報プラザ 第 2 研修室(広島市中区千田町 3 丁目 7 - 47)

講演(11 件): 組成最適化したユビキタス Ti-2.5Fe-2Mn-2Zr 合金の特性評価 広島大学 武田栄樹

Al-Mg-Zn 系合金の水素脆化特性に及ぼす熱処理条件の影響 岡山県立大学 北浦宏将

液圧張出加工による深い角筒容器の成形 鳴門教育大学 西澤貴史 その他 8 件

4) 支部役員会

日時:平成 24 年 7 月 7 日(土) 場所:広島大学 工学研究院 A3 棟 1 階 126 会議室(東広島市鏡山一丁目 4 番 1 号)

5) 支部各賞授与

5)-1 優秀講演賞 9 件

5)-2 研究・開発奨励賞 6 件

5)-3 奨励賞 13 件

推薦依頼状を中国四国支部内で軽金属学会会員の存在する大学および高専に送付。各校から 1 名を推選して頂く。

(8) 九州支部

1) 日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部 共催

平成 24 年度合同学術講演大会

日時:平成 24 年 6 月 9 日(土)

場所:北九州国際会議場

2) 第 87 回支部役員会

日時:平成 24 年 7 月 27 日(金)12:00~13:30 場所:九州工業大学工学部教育研究 6 号棟 2 階会議室

3) 第 87 回例会

日時:平成 24 年 7 月 27 日(金)13:30~17:00 場所:九州工業大学工学部教育研究 6 号棟 1 階材料設計スペース

招待講演:

1. 耐熱性および難燃性を有するマグネシウム合金鋳造材の開発 松本 敏治 氏 (株) 戸畑製作所 技術センター長)
 2. Al-Si 合金鋳物の組織と機械的特性に及ぼす高純度化の効果
小川 俊文 氏 (福岡県工業技術センター 機械電子研究所材料技術課専門研究員)
 3. 板材のせん断特性とその利用 廣田 健治 氏 (九州工業大学大学院 准教授)
- 特別研究発表 (合同学術講演会ポスター賞受賞者の研究紹介)
4. LPSO 型 Mg-Zn-Gd 合金押出材におけるクリープ変形時の組織変化 城野百合 (熊大 D1、山崎倫昭、河村 能人)
 5. 微細マーカー法によるゴムメタル(Ti-Nb-Ta-Zr-O 合金) の不均一変形解析
徳永尚史 (九大院生、樋口成起、森川龍哉、東田賢二、古田忠彦、倉本 繁)
 6. Al-Mg-Si 系合金における析出物および転位の 3 次元解析
三角和輝 (九大 M1、西山武志、山田和広、金子賢治、池田賢一、中島英治、菊池正夫、高田健、佐賀誠、潮田浩作)

4) 第 88 回役員会

日時: 平成 25 年 2 月 6 日(水)12:00 ~ 13:30 場所: 九州大学 筑紫キャンパス 総合理工学府・研究院 C 棟 2 階 セミナー室 1

5) 第 88 回例会

日時: 平成 25 年 2 月 6 日(水)13:30 ~ 17:10 場所: 九州大学筑紫キャンパス 筑紫地区事務部共通管理棟 3 階大会議室

講演: アルミニウム板材の自動車パネルへの適用: 成形技術から材料の開発まで

高田 健 氏 (新日鐵住金(株) 鉄鋼研究所 薄板研究部)

最近の透過電子顕微鏡技法を用いた金属材料組織の観察 ~ 電子線トモグラフィーと収差補正 STEM を中心に ~

波多 聰 氏 (九州大学 大学院総合理工学研究院 准教授)

バルクナノアルミニウム合金における時効析出と機械的性質 辻 伸泰 氏 (京都大学 大学院工学研究科 教授)

・処務の概況

[1]役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の開始時)	報酬	担当 *:委員長	現職名
代表理事・ 会長	山内 重徳	非常勤	平成 23 年 5 月 21 日		なし	組織*	住友軽金属工業(株)社長
代表理事・ 副会長	三輪 謙治	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	総合計画*	公益財団法人科学技術交流財団 主幹研究員
同上	伊藤 吾朗	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務*	茨城大学教授
理事	小野 幸子	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	大会運営	工学院大学教授
同上	熊井 真次	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	国際交流*	東京工業大学教授
同上	世利 修美	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	編集	室蘭工業大学教授
同上	高山 善匡	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	編集*	宇都宮大学教授
同上	池田 勝彦	同上	平成 24 年 5 月 19 日		同上	企画	関西大学教授
同上	戸田 裕之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	研究	豊橋技術科学大学教授
同上	仲井 清眞	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	支部*	愛媛大学教授
同上	中島 英治	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	大会運営	九州大学教授
同上	成島 尚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	編集	東北大学教授
同上	松田 健二	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務	富山大学教授
同上	本保元次郎	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	大会運営*	千葉工業大学教授
同上	山本 厚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	参与会	兵庫県立大学教授
同上	相浦 直	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	参与会*	(株)神戸製鋼所担当部長
同上	岡本 一郎	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	国際交流	日本軽金属(株)取締役専務執行役員
同上	阿見 秀一	同上	平成 24 年 5 月 19 日		同上	大会運営	三協立山(株)執行役員
同上	神戸 洋史	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	企画*	日産自動車(株)パワートレイン生産技術本部エキスパートリーダー
同上	栃木 雅晴	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	企画	昭和電工(株)小山事業所長
同上	村松 俊樹	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	総務	古河スカイ(株)理事
同上	吉田 英雄	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	研究* 支部	住友軽金属工業(株)常務研究員
同上	渡辺 英雄	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	参与会	三菱アルミニウム(株)常務取締役兼常務執行役員
監事	加藤 数良	同上	平成 23 年 5 月 21 日		同上	財産の状況・ 理事の業務状 況を監査	日本大学教授
同上	福岡 潔	同上	平成 17 年 5 月 14 日	平成 23 年 5 月 21 日	同上	同上	ハイドロアルミニウム・ジャパン(株)技術顧問

[2]職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	大園 智哉	常勤	平成 17 年 4 月 1 日	全般	
事務局長補佐	石川 和徳	常勤	平成 25 年 1 月 1 日	全般	事務局長業務引き継ぎ
職員	前田その美	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	庶務	
職員	木村 明子	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	編集	
職員	高野 正明	非常勤	平成 16 年 4 月 1 日	経理	

[3] 会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年度 定時総会	平成 24 年 5 月 19 日	1. 平成 23 年度事業報告に関する件(報告事項) 2. 平成 23 年度決算報告に関する件(審議事項) 3. 平成 24 年度事業計画の件(報告事項) 4. 平成 24 年度収支予算に関する件(報告事項) 5. 平成 23・24 年度役員の補充選任に関する件(審議事項) 6. 名誉会員推薦に関する件(審議事項)	1. 全員異議なく原案通り確認。 2. 全員異議なく原案通り承認可決。 3. 全員異議なく原案通り確認。 4. 全員異議なく原案通り確認。 5. 全員異議なく原案通り承認可決。 6. 全員異議なく原案通り承認可決。

2. 理事会(審議事項のみ記載)

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第 9 回 理事会	平成 24 年 4 月 26 日	1. 平成 24 年度定時総会議案に関する件 1) 平成 23 年度事業報告に関する件 2) 平成 23 年度決算報告に関する件 3) 平成 23・24 年度役員の補充選任に関する件 2. 規程類の改定に関する件 3. 常設委員会委員の変更に関する件 4. 会員異動に関する件	1. 左記の 3 件について原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第 10 回 理事会	平成 24 年 6 月 20 日	1. 選考委員会委員選任に関する件 2. 第 124 回春期大会実行委員会委員(案)および予算(案)に関する件 3. 支部費配分に関する件 4. 規程類の改定に関する件 5. 学会代表委員の追加変更に関する件 6. 常設委員会委員の変更に関する件 7. 会員異動に関する件	1. 一部修正し全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 理事会規程、経理処理規程、参与および参与会規程は、原案の通り全員異議なく承認可決。女性会員の会規程は、一部修正のうえ全員異議なく承認可決。他 4 件は総務委員会に持ち帰る。 5~7. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第 11 回 理事会	平成 24 年 9 月 26 日	1. 各賞表彰選考に関する件 2. 平成 24 年度軽金属学会特別維持委員会会費請求に関する件 3. 規程類改定に関する件 4. エネルギー利用技術作品コンテスト後援申請書に関する件 5. 会員異動に関する件 6. 常設委員会委員の変更に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第 12 回 理事会	平成 24 年 10 月 29 日	1. 軽金属学会賞・功労賞、功績賞選考委員会の委員選任に関する件 2. 規程類改定に関する件 3. 事務局長人事に関する件 4. 会員異動に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 大会運営委員会規程の改定案は原案の通り全員異議なく承認可決。若手の会規程案は総務委員会に持ち帰る。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第 13 回 理事会	平成 25 年 1 月 30 日	1. 軽金属希望の星賞選考に関する件 2. 第 125 回秋期大会実行委員会委員構成(案)および予算書(案)に関する件 3. 各種規程類の改定に関する件 4. 永年会員推薦基準の見直しについて 5. 会員異動に関する件 6. 常設委員会委員変更に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 改定案 13 件について一部修正することで承認、3 件については再検討する。 4. 次回理事会にて継続審議する。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第 14 回 理事会	平成 25 年 2 月 27 日	1. 平成 25・26 年度役員候補に関する件 2. 第 16 回軽金属学会賞に関する件 3. 第 15 回軽金属学会功労賞に関する件 4. 第 11 回軽金属功績賞に関する件 5. 会員異動に関する件 6. 一般社団法人平成 25 年度定時総会開催に関する件 7. 永年会員推薦基準の見直しについて	1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。 4. 全会一致で承認可決。 5. 全会一致で承認可決。 6. 全会一致で承認可決。 7. 前回総務委員長からの提案内容を全会一致で承認可決。
第 15 回 理事会	平成 25 年 3 月 27 日	1. 平成 25 年度事業計画に関する件 2. 平成 25 年度収支予算に関する件 3. 平成 25・26 年度理事に関する件 4. 名誉会員推薦に関する件	1. 全会一致で承認可決。 2. 全会一致で承認可決。 3. 全会一致で承認可決。 4. 全会一致で承認可決。

		5. 永年会員推薦に関する件 6. 規程類の改定に関する件 7. 支部長交代の件 8. 会員異動に関する件	5. 全会一致で承認可決。 6. 全会一致で承認可決 7. 全会一致で承認可決 8. 全会一致で承認可決
--	--	--	---

3. 各種委員会

(1) 総合計画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 23・24 年度 第 6 回	平成 24 年 6 月 20 日	1. 維持会員増強について 2. 支部配賦金見直し結果	1. 維持会員入会の特典について議論。学会からの情報発信を進める。 2. 原案を承認し、理事会に提示する。
第 7 回	平成 24 年 9 月 26 日	1. 維持会員増強について	1. 具体的な対策案を基に議論を実施。裾野を広げるべく、中小企業のニーズを把握した上で、具体的対策を検討する。
第 8 回	平成 24 年 10 月 29 日	1. 維持会員増強について	1. アンケートにより中小企業のニーズを把握したうえで、関東、東海、関西の 3 支部で試行することとした。
第 9 回	平成 25 年 2 月 27 日	1. 平成 24 年度決算予測及び平成 25 年度予算案 2. 維持会員増強について 3. 次期委員会への引継事項について	1. 原案のとおり確認。 2. 中小企業へのアンケート結果をもとに、今後の進め方を討議。 3. 委員長作成案を次回委員会で検討。
第 10 回	平成 25 年 3 月 27 日	1. 平成 25 年度予算案について 2. 維持会員増強について 3. 次期委員会への引継事項について	1. 原案のとおり確認。 2. 今後の進め方を討議、決定。 3. 委員長原案を一部追記修正。

(2) 総務委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第 246 回	平成 24 年 6 月 13 日	1. 規程類改定案について 2. 永年会員推薦基準の見直しについて 3. 第 123 回秋期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い	1. 原案を確認・修正した。 2. 事務局より見直し案を提示。次回検討する。 3. 軽圧 6 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。
第 247 回	平成 24 年 9 月 11 日	1. 理事会議事録の確認 2. 規程類の改定について	1. 理事会議事録を確認。 2. 10 件の規程類の改定案を検討。
第 248 回	平成 24 年 11 月 27 日	1. 理事会議事録の確認 2. 規程類の改定について 3. 永年会員規程の見直しについて	1. 理事会議事録を確認。 2. 11 件の規程類の改定案を検討。
第 249 回	平成 25 年 1 月 21 日	1. 平成 24 年度軽金属希望の星賞二次選考 2. 規程類改定案について 3. 永年会員推薦基準見直し時の推定人員 4. 次期委員会引継事項について	1. 33 名を選考、次回理事会に諮る。 2. 4 件の規程類の改定案を検討。 3. 基準見直し時の人員を推定。 4. 次回委員会迄に委員長が案を作成。
第 250 回	平成 25 年 3 月 13 日	1. 名誉会員推薦について 2. 永年会員推薦について 3. 規程類改定案について 4. 永年会員、名誉会員推薦基準見直しについて 5. 第 124 回春期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い 6. 次期委員会引継事項について	1. 原案のとおりを次回理事会に諮る。 2. 原案のとおりを次回理事会に諮る。 3. 改定案を修正のうえ、理事会に諮る。 4. 見直し案を次回理事会に諮る。 5. 軽圧 6 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。 6. 委員長原案を検討し修正追記。

(3) 企画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 23・24 年度 第 5 回	平成 24 年 4 月 23 日	1. 平成 24 年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の準備状況 2. 第 89 回シンポジウム「高品質高信頼性ダイカスト・鋳物の最新動向と未来」の準備状況 3. 第 90 回シンポジウム(摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質研究部会)会告案 4. 新規シンポジウム具体案について	1. 実施を決定し、会告案を検討。 2. 会告案を確認し、一部修正。 3. 会告案を確認し、一部修正。 4. 新規セミナー案、新規シンポジウム案が提示された。次回までに、具体案を作成することを決定。
第 6 回	平成 24 年 6 月 18 日	1. 平成 24 年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の準備状況 2. 第 89 回シンポジウムの準備状況 3. 第 90 回シンポジウムの準備状況	1. 準備状況を確認。 2. 準備状況を確認。 3. 準備状況を確認。 4. 新規セミナー案および新規シンポジウム案を

		4. 新規セミナー・シンポジウム具体案について	検討した。
第7回	平成24年 9月6日	1. 平成24年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の準備状況 2. 第89回シンポジウム「高品質高信頼性ダイカスト・鋳物の最新動向と未来」の結果報告 3. 第90回シンポジウム「軽金属材料の摩擦攪拌接合(FSW)」の準備状況 4. 新規セミナー・シンポジウム具体案について	1. 準備状況を確認。 2. 実施結果を確認。 3. 準備状況を確認。 4. 具体案について討議。今後さらに検討を行う。
第8回	平成24年 11月20日	1. 平成24年度軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」の実施結果 2. 第90回シンポジウム「軽金属材料の摩擦攪拌接合(FSW)」の実施結果 3. 規程の見直し案について 4. 新規セミナー案について 5. 新規シンポジウム案について	1. 決算およびアンケート結果を報告。 2. 決算およびアンケート結果を報告。 3. 規程の見直し案を審議、承認。 4. 「状態図と組織 初級編」案を検討。 5. 「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」他を検討。
第9回	平成25年 1月29日	1. 新規セミナー「状態図と組織 初級編」案 2. 新規シンポジウム案 3. 新規シンポジウム案 4. 次期委員会引継事項	1. テキスト、講師について検討。 2. 「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」を検討。 3. 分析技術に関するテーマを検討。 4. 次回までに委員長が叩き台を作成。
第10回	平成25年 3月22日	1. 新規セミナー「状態図と組織 初級編」案 2. 新規シンポジウム案 3. 次期委員会への引継事項について	1. 全体構成・テキスト(青本利用)・講師陣などを検討。 2. 第91回シンポジウム会告内容を確認および第92回シンポジウム案を検討。 3. 委員長原案を確認。

(4) 編集委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第559回 幹事会	平成24年 4月12日	1. 軽金属3、4、5月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属6月号の掲載内容決定 5. 次期特集号について 6. 次期連載講座について 7. 投稿規程の見直し 8. 投稿審査システム導入について	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。 3. 依頼内容を検討、承認。 4. 掲載内容を検討、決定。 5. 進捗状況を確認。 6. 進捗状況を確認。 7. 見直し案を総務委員会に諮る。 8. 3月15日より運用開始。
第560回 幹事会	平成24年 5月7日	1. 軽金属4、5、6月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属7月号の掲載内容決定 5. 11月特集号について 6. 次期連載講座について 7. 各分担の進捗状況報告 8. 投稿規程の見直し	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。 3. 依頼内容を検討、承認。 4. 掲載内容を検討、決定。 5. 進捗状況を確認。 6. 進捗状況を確認。 7. 進捗状況を確認。 8. 見直し案を確認。
平成24 年度第1 回編集 委員会	平成24年 5月20日	1. J-STAGE3 投稿審査システム利用について 2. 規程の改定について報告	1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。
第561回 幹事会	平成24年 6月15日	1. 軽金属5、6、7月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属8月号の掲載内容決定 5. 11月特集号について 6. 次期連載講座について 7. 随想について	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。 3. 依頼内容を検討、承認。 4. 掲載内容を検討、決定。 5. 進捗状況を確認。 6. 進捗状況を確認。 7. 2件の案件を了承。
第562回 幹事会	平成24年 7月12日	1. 軽金属6、7、8月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属9月号の掲載内容決定 5. 編集幹事会の簡素化について	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。 3. 依頼内容を検討、承認。 4. 掲載内容を検討、決定。 5. 本年8月からの隔月開催を決定。
第563回 幹事会	平成24年 8月9日	1. 軽金属7、8、9月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。

		3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 10月号の掲載内容決定 5. 投稿規程・執筆要領の改定について	3. 依頼内容を検討、承認した。 4. 掲載内容を検討、決定。 5. 改定案を確認。
第564回 幹事会	平成24年 10月3日	1. 軽金属9、10、11月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 軽金属12月号の掲載内容決定 4. 投稿規程・執筆要領の修正案について 5. 各分担のリーダーの選任および進捗状況報告	1. 進捗状況を確認。 2. 掲載可否を検討。 3. 掲載内容を検討、決定。 4. 修正案を確認。 5. リーダーを選任。進捗状況を報告。
平成24 年度第2 回編集 委員会	平成24年 11月11日	1. 規程の改定について	1. 規程の改定案を審議。
第565回 幹事会	平成24年 12月5日	1. 軽金属10～1月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属2月号掲載内容報告・確認 4. 各分担の進捗状況報告 5. 規程の改定案について 6. 幹事会の隔月開催について	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 進捗状況を確認。 5. 改定案を確認、修正。 6. 問題ないことを確認し、次回からの開催を隔月とすることを正式決定。
第566回 幹事会	平成25年 2月6日	1. 軽金属12～3月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告・確認 3. 軽金属4月号掲載内容報告・確認 4. 各分担の進捗状況報告 5. 規程の改訂について 6. 次期委員会への引継事項について	1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 進捗状況を確認。 5. 改定案を確認、修正。 6. 議題4の中で合わせ検討。

(5) 国際交流委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成23・ 24年度 第4回	平成24年 3月6日	1. ANLM(新ICP)開催について 2. ANLMのホームページ開設について	1. 旧ICPを改め、ANLM(Asian Network on Light Metals)とすることで合意。提案書の内容を確認し、各国の代表に提出することを決定。 2. 基本案を了承し、開設を進めることを決定。
第5回	平成24年 5月14日	1. ANLM(Asian Network on Light Metals)について 1) 関係各国代表への提案書に対する回答 2) 開催準備について 2. ANLM 英文ホームページ開設の進捗状況について	1. 1) 3地域からの回答を確認。台湾、韓国については再度確認する。豪州の担当者を確定し連絡を取る。 2) 開催準備案に基づいて討議。懇親会予算、記念品を検討。 2. 表紙および内容構成を確認。
第6回	平成24年 7月24日	1. 秋のICPとAFLMについて (1) AFLMのプログラム(講演者、タイトル) (2) ICPでの議論の内容について 2. 英文HPの進捗について 3. AFLMの会場や懇親会、記念品等について 4. ACAA、ICAA-ICの動向について 5. 台湾軽金属協会からの軽金属学会会長宛の講演依頼について	1. 秋のICPとAFLMについて (1) AFLMのプログラムを確認。 (2) ICPでの議論の内容について討議。 2. 進捗状況を確認。 3. 会場および記念品を確認。 4. ACAA、ICAA-ICの動向を確認。 5. 山内重徳会長が9月7日に講演することで準備を開始。
第7回	平成24年 9月7日	1. 英文HPの進捗について 2. AFLMとICP meetingの進め方について 3. ICP meetingにおける想定問答について 4. ACAA、ICAA-ICの動向のその後について	1. 9月末までの開設を予定。 2. 役割分担を決定。 3. 想定問答案を討議のうえ確認。 4. 岡本副委員長より説明。
第8回	平成24年 10月26日	1. 英文HPの進捗について 2. AFLMとICP meetingの準備状況の確認 3. ACAA、ICAA-ICの動向のその後について	1. ICPに関する英文HPを10月に開設。 2. 準備状況を確認。 3. その後について確認。
第9回	平成25年 1月24日	1. AFLMとALMA(旧ICP) meetingの実施結果 2. ACAAの動向のその後について 3. 国際交流委員会の決算状況 4. 次期委員会への引継事項について	1. 実施結果を確認。 2. 1st Circularが出され、軽金属学会を通して会員と関連学協会に周知。 3. 事務局からの報告を確認。 4. 次回までに委員長が叩き台を作成。
第10回	平成25年 3月15日	1. ALMAホームページメンテナンスの進捗 2. 次期委員会への引継事項について	1. 英文チェック後、一部修正。 2. 委員長原案を追記、修正。

(6) 大会運営委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年度 第 1 回	平成 24 年 7 月 25 日	1. 大会運営について 1) 第 122 回春期大会の決算および反省点 2) 第 124 回春期大会テーマセッション募集日程 2. 第 123 回秋期大会について 3. 第 124 回春期大会の開催計画概要について 4. 若手の会、女性会員の会の報告	1. 1) 第 122 回春期大会の決算および反省点について報告。 2) テーマセッション募集日程を確認。 2. 第 123 回秋期大会準備状況を確認。 3. 第 124 回春期大会開催計画を紹介。 4. 両会からの報告を確認。
第 2 回	平成 25 年 1 月 23 日	1. 大会運営について 1) 第 123 回秋期大会の決算および反省点 2) 第 125 回春期大会テーマセッション募集日程 2. 第 124 回春期大会について 3. 第 125 回秋期大会の開催計画概要について 4. 若手の会、女性会員の会の報告	1. 1) 第 123 回秋期大会の決算および反省点について報告。 2) テーマセッション募集日程を確認。 2. 第 124 回春期大会準備状況を確認。 3. 第 125 回秋期大会開催計画を紹介。 4. 両会からの報告を確認。

(7) 研究委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 23・24 年度 第 5 回	平成 24 年 6 月 15 日	1. 研究部会平成 23 年度活動報告・決算(見込み)および平成 24 年度事業計画 2. 剰余金使用願いについて 3. 大型研究プロジェクト素案について	1. 各研究部会作成の資料を確認。 2. 加工と熱処理による優先方位制御研究部会からの申請を承認。 3. 資料に基づいて説明。
第 6 回	平成 24 年 9 月 21 日	1. 研究部会平成 24 年度事業中間報告について 2. 大型研究プロジェクト素案について	1. 各部会より本年の取組みと今後の予定について報告。 2. 資料に基づいて説明。
第 7 回	平成 24 年 12 月 17 日	1. 研究委員会規程類の改定について	1. 改定案を確認した。
第 8 回	平成 25 年 3 月 14 日	1. 研究部会本年度活動報告・決算見込み及び次年度事業計画 2. 規程類改定の理事会審議結果について 3. 新規研究部会 4. 次期委員会への引継事項について	1. 資料に基づき報告、審議了承。 2. 理事会審議結果を確認 3. 原案を確認し、次回理事会に諮る。 4. 委員長作成の原案を確認。

(8) 支部長会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年度 第 1 回	平成 24 年 5 月 20 日	1. 平成 23 年度支部収支報告書および平成 24 年度支部収支予算書、新々会計基準について、および第 1 四半期決算資料送付について 2. 平成 24 年度支部費配分について 3. 今後の開催予定地について 4. 高橋記念賞について 5. 維持会員増強について 6. 年間表彰スケジュールについて	1. 事務局より提示した資料を確認。 2. 臨時支部長会で提示された案を承認。事務局より 24 年度の見直し案を提示。 3. 平成 26 年第 126 回春期大会までの開催日程、予定地を確認。 4. 事務局より提示した選考委員案の確認を依頼。 5. 各支部にて増強に努めることを確認。 6. 事務局より提示した資料を確認。
第 2 回	平成 24 年 11 月 11 日	1. 今後の開催予定地について 2. 軽金属希望の星賞についての確認 3. 年間表彰スケジュールについて 4. 高橋記念賞推薦書の改正について 5. 平成 24 年度中間支部決算について 6. 復興特別所得税控除について 7. 維持会員増強について 8. 支部規程類の改定および制定について 9. 会誌「軽金属」の支部特集号の再開について	1. 事務局より提示した資料を確認。 2. 事務局より提示した資料を確認 3. 事務局より提示した資料を確認。 4. 推薦理由記載の規程を改定した。 5. 事務局より提示した資料を確認。 6. 事務局より提示した資料を確認。 7. アンケート案と今後の予定を確認。 8. 改定案を是認異議なく承認。 9. 平成 26 年度からの再開を決定。

(9) 組織委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年度 第 1 回	平成 24 年 10 月 29 日	1. 平成 25・26 年度役員候補に関する件	1. 次期理事候補について一次案を決定。監事候補案を次回までに検討。
第 2 回	平成 25 年 1 月 30 日	1. 平成 25・26 年度役員候補に関する件 2. 平成 25・26 年度役員担当案	1. 次期の役員候補および会長、副会長候補を選定、理事会に諮る。 2. 次期の役員担当案を選定、理事会に諮る。

(10) 参与会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
平成23・24年度第2回	平成24年7月13日	1. 講演 2. 意見交換	1. 水素とアルミニウムについて、3件の講演会を実施。 2. 参与から軽金属学会への要望などを聴取。
第3回	平成24年12月7日	1. 講演 2. 意見交換	1. 「軽金属の接合技術の現状と今後の課題」他、計3件の講演会を実施。 2. 参与から軽金属学会への要望などを聴取。

[4] 許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
なし	なし	なし

[5] 契約に関する事項 該当なし

[6] 寄付金に関する事項 該当なし

[7] 主務官庁からの連絡および報告事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
平成24年6月14日	公益目的支出計画実施報告書等の提出	内閣府に關係書類を電子提出

[8] その他重要事項 特になし

[9] 会員動向

() 内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
平成25年4月1日	49	86	1,619	266	(10)	1,885	2,020
平成24年4月1日	50	76	1,654	264	(9)	1,918	2,044
差引増減	1	10	35	2	(1)	33	24

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
平成25年4月1日	461	99	1,016	43	1,619
平成24年4月1日	463	103	1,050	38	1,654
差引増減	2	4	34	5	35

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数									年間購読
			10	8	6	5	4	3	2	1	合計	
平成25年4月1日	6	126	2	0	0	0	1	3	16	104	169	72
平成24年4月1日	6	123	2	0	0	0	1	3	16	101	166	85
差引増減	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	3	13